

税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

令和6年(2024年)

1月10日 第267号

発行所 近畿税理士政治連盟

発行人 那須弘敬 / 編集人 矢田善久

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号

電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050

URL <https://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



新年を祝う初日の出 (第1回写真コンテスト「最優秀会長賞」)

撮影：新田 裕夫 (北支部)

■ 新春対談 (盛山正仁 文部科学大臣・那須弘敬 近税政会長)	3
■ 第1回写真コンテスト入賞作品	11

焦点

近畿税政連の会費収納率が下がり続けている。昨年の34.49%をさらに下回りような危機的な状況である。収納率下降の一番の原因は、税政連が活動する意義をご理解いただけていないことにあると思われる。活動状況を広報し、

理解を得る立場にあるものとして大いに力不足を感じている。そこで改めて税政連活動の必要性について確認をしてみたい。税理士会には税理士法により、税務行政・租税又は税理士に関する制度について官公署に対する建議権が認められている。各单位税理士会の調査研究部が税制改正意見書を作成し、日税連でそれらを審議し、税制改正建議書を取りまとめる。それをもって建議を行うのであるが、

税政連活動の意義

税理士会の要望には政治活動を抜きにしては実現し得ないものが多数ある。しかし税理士会は特別法人であり政治活動を行うには制限があるため、税政連がその活動を担当し、その要望実現を目指している。つまり税政連は、税理士会の要望実現のために存在する政治団体である。具体的には、税理士会の要望が法律に反映されるように立法府の構成員たる国会議員に「陳情」し、またその成果を得るためにその議員を国会に送り出すための「選挙支援」を行っている。また多くの議員に対しては「税理士による後援会」を結成して日頃からの支援をしている。これが税政連の活動である。決して「政治家好きの税理士の集まり」ではないことを是非ご理解いただきたいと思う。
(副幹事長 矢田善久)

年 頭 の こ と ば

税理士制度の発展と、税理士会の要望実現のために

新年あけましておめでとうございます。

会員先生、ご家族の皆様には健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には物心ともに温かいご理解とご支援を賜り、税政連活動も一定の成果を達成することが出来たことに厚くお礼と感謝を申し上げます。

昨年は、日税連を始めとして近税会、支部役員の改選期にあたり、新執行部による新体制での船出となりました。日税連は東海会の太田直樹会長、日税政は南九州会の東秀優会長がそれぞれ就任され、日本の税理士業界を背負い、リーダーとして活躍いただくことになりました。また、近税会も石原健次会長が就任され、近税政も新執行部になり、今後2年間税理士業界発展のため、税理士会と税政連、税理士による国会議員等後援会が連携して税理士会の建議、要望の実現に向け、積極的な活動を進めて行く所存でございます。



那須会長

“車の両輪”として

私は、近畿税理士会の副会長も拝命しており、税理士会の現職正副会長が、税政連の会長に就任することは、実に20年ぶりの事となります。これにより、今後は近畿税理士会と近畿税理士政治連盟は“車の両輪”として、より一層、連携して積極的に活動をおこなうことが可能となります。とくに、税政連の組織強化は喫緊の課題であり、税理士会と連携して全力で取り組んでまいります。

要望実現に向けて

昨年10月より、ついにインボイス制度が実施されました。多くの小規模事業者に大きな影響をおよぼしています。実務においても、さまざまな問題がすでに発生しております。今後も制度の柔軟な運用をはじめとし、その問題解決に向け組織を挙げて、力強く取り組んでいく所存でございます。

税理士による国会議員等後援会に参加を

税政連活動を支える基盤は後援会活動です。後援会を通じて平素から積極的に国会議員の先生方と接触し、懇談会、意見交換をおこなうことにより、税理士会の要望を実現することが、年々重要視されるようになってまいりました。

輝かしい未来のため、そして税理士制度と申告納税制度の発展のため、執行部一同努力してまいります。会員各位には変わらぬご理解と絶大なるご支援をお願いし、あわせて税政連活動、後援会への積極的なご参加を重ねてお願い申し上げます。

皆様にとって今年も最良の年でありますよう祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

目次
焦点..... 1
年頭のことば..... 2
新春対談..... 3
後援会ニュース..... 7
第1回写真コンテスト表彰式・懇親会開催..... 10
第1回写真コンテスト入賞作品..... 11
本部6委員会の紹介..... 12
第2回写真コンテストのご案内..... 14
令和5年度税理士制度発展募金の報告..... 14
かんさいすずめ..... 15
銀河系..... 15



盛山正仁 文部科学大臣

那須弘敬 近畿税理士政治連盟会長

(司会) 皆さん、新年明けましておめでとうございます。ただ今より、盛山正仁文部科学大臣と那須弘敬近税政会長により令和6年新春対談を始めさせていただきます。

【税理士による後援会】

(司会) まずは新春対談に先立ちまして、税理士による盛山正仁後援会会長でもあります長谷川隆史近税政幹事長に盛山正仁議員と後援会についてのご紹介をお願い致します。

(長谷川) 盛山議員は、現在5期目の兵庫1区選出の衆議院議員であり、昨年より第23代の文部科学大臣としてご活躍をされております。官僚(旧運輸省)のご出身ですが、学者肌の一面もあり、衆議院議員となられてから法学と商学の2つの博士号を取得されました。「議員立法の盛山」と呼ばれるほど、これまで数多くの議員立法法案を成立させ、自らが法律の条文の解説書まで執筆されるほどの政策通でいらっしゃいます。また保有者の少ない1級ラジオ体操指導士という難関資格もお持ちで、ラジオ体操連も発足され、その活動の幅広さには驚かされます。

税理士による後援会は、平成24年8月に設立され、現在の会員数は62名です。初代会長の垣見正孝先生、二代目会長の赤井義宏先生という、いわゆる“神戸の重鎮”の後を引き継ぎ、私が三代目会長を拝命いたしました。

盛山議員の選挙区である兵庫1区(神戸市中央区、灘区、東灘区)は、都心部特有の無党派層の動向で選挙結果が大きく振れる難しい選挙区ですが、特に若い税理士先生方にも関心を持ってもらえるような後援会組織作りを模索しているところです。

【今年のお正月】

(司会) ありがとうございました。それでは盛山大臣、今年はどうなお正月を過ごされたのでしょうか。地元には帰られましたか。

(盛山) 新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

まず、那須会長をはじめ近畿税政連の先生方に文部科学省の大臣室までわざわざお越しいただきましたことに、心からお礼を申し上げます。そして、長谷川後援会長には平素より温かいご



盛山正仁 文部科学大臣

支援をいただいておりますことに感謝を申し上げます。文部科学大臣を拝命し要警護対象者となり、昨年10月に旧統一教会の解散命令請求を行って以降、私の警護が一層強化されております。そのため、極力外出しないように要請されており、平成17年の初当選以来、初めてお正月を自宅でゆっくりと過ごしました。自宅の近所の公園に犬の散歩に出かけたくらいでした。

(司会) ありがとうございます。それでは、那須会長はどのようなお正月を過ごされましたか。

(那須) あけましておめでとうでございます。本年もよろしく申し上げます。

昨年9月の会長就任以来、組織運営に関する情報収集と、引継ぎ書類読込みの日々が続いています。正月中も、新執行部体制、税理士による後援会や国会議員の確認で明け暮れました。就任間もないので、日々勉強です。

(司会) 盛山先生、今年の抱負などもお聞かせください。

(盛山) 文部科学省が提出する法案等を含む通常国会でのスムーズな審議や揚げ足取りをされず、かつ、わかりやすい国会答弁を心がけます。

(司会) ありがとうございます。それでは、那須会長はいかがでしょう。

(那須) 今年は衆議院議員総選挙が予想されます。われわれの建議権に基づく税制改正などの要望実現のために、ご尽力いただける国会議員の先生方が国政で活躍できるよう、さらなる支援活動をしていきたいと思っております。

【政治家としての志・理念】

(司会) 盛山先生は自民党及び政府において法務大臣政務官、法務副大臣等要職を歴任され、現在は文部科学大臣としてご活躍されています。今後ますます自民党及び政府において重責を担っていかれることと存じますが、先生の政治家としての志や理念、また座右の銘や好きな言葉などございましたらお聞かせください。

(盛山) 初当選の時からずっと「一期一会」という言葉を大切に生きております。一期一会とは、一生涯に一度限りの機会と心得て、そのことに専念する、との意味があり、茶道の心得としてよく使う言葉であると理解しております。ですから今日、先生方とここでお会いし、このように一緒に対談をする時間を持てたことは、とてもよい機会をいただいたことと感謝しております。また、多くの国民の皆さんとお会いする中では、お目にかかるのは今日1回限りで、もう今後はないかもしれない、ということもありますので、常に「一期一会」の気持ちで、その時、その時を大事にして努めていきたいと思っております。自分の心がけ、心構えとしてもじっくりくる言葉です。

また、税理士の先生方は、お客さまのお声に耳を傾けて、どうすればそういうお声に応えることができるのかを、毎日のお仕事でなさっておられると思うのですが、われわれ政治家であれば、国民の皆さんのお声に耳を傾けて、先生方と同様に、そういう気持ちを常に持ち続けて、いつも真摯に対応していくこと、「相手の心に寄り添う政治」が大事であると考えております。

これからも私自身も頑張りますので、那須会長をはじめ多くの税理士の先生方に、また引き続きご指導、ご支援賜ればありがたいと考えております。

【大臣としての日常・取り組み】

(司会) 昨年9月に発足した第2次岸田第2次改造内閣において文部科学大臣に就任され、国

民の期待も高くなっています。文部科学大臣としての日常や取組み、先生の職務に対するスタンスや日常の面白い話題、苦労話などございましたらお聞かせください。

(盛山) もちろん、国会対応がまず優先されますが、毎朝、文部科学省に出勤して、「教育」「科学技術・学術」「スポーツ」「文化・芸術」の4分野のさまざまな課題について説明を受け、意見交換を行い、与党・野党の関係議員、財務省他に説明・折衝をおこなっております。

とにかく時間に追われる毎日です。朝は6時より前に自宅を出発することもあります。11月にパリのユネスコ会議に出席しましたが、1泊4日のスケジュールでした。

(那須) 先ほどのお話にもありましたが、文部科学大臣に就任され要警護対象者となり、旧統一教会の一件で警護が一層強化されたとのこと。時の人となられて、ますますご多忙になられると思われませんが、くれぐれもご自愛いただき、さらなるご活躍を祈念します。

【税制改正】

(司会) 税理士会には、建議権が認められており、中小企業の実態を身近で知る税務の専門家の立場から毎年税制改正に関する建議をおこなっています。昨年10月よりインボイスが導入されました。これからは実務の現場での問題点を一つ一つ拾い上げていくことが必要と考えます。先生のお考えをお聞かせ下さい。



左から、矢田善久広報委員長、長谷川隆史幹事長、盛山正仁大臣、那須弘敬会長



那須弘敬 近畿税理士政治連盟会長

(盛山) 平素から税理士の先生方にお世話になっていますが、特に令和5年10月以降は、インボイスについてこれまで以上にお世話になっています。ご指摘の通り、実務現場での問題点を伺わせていただき、課題を解決して参ります。

また、毎年の近畿税理士政治連盟からの税制改正の建議にもしっかりと対応をさせていただきます。

(那須) これから実務現場で、数多く発生するとおもわれるインボイスの問題点に対する要望は、税政連の責務と考えます。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

【税理士のあるべき姿】

(司会) 税理士会では、経済社会の構造変化に対応して税理士の業務を進化させ、将来にわたって国民からより一層信頼される税理士制度を確立するために、今後、我々税理士及び税理士業界はどうあるべきかなど、ご意見を頂戴できますでしょうか。

(盛山) 私達議員もそうですが、税理士の先生方をはじめとする誰にとっても、クライアント(お客様・依頼者)からのお声に真摯に、誠実に向き合うことが何よりも必要であると考えます。そのような毎日の積み重ねが、国民の皆様から信頼されることにつながると思います。

(那須) 貴重なご意見ありがとうございました。

【税理士へのメッセージ】

(司会) 最後に、近畿会約15,000人の税理士へのメッセージを是非賜りますようお願い申し上げます。

(盛山) 平成17(2005)年の初当選以来、近畿税理士政治連盟の先生方にはお世話になっております。

当選以来、税理士会が抱えておられる課題について、先生方の業務環境や納税環境の電子化といった、税理士を取り巻く状況の変化に的確に対応するとともに、さらに税理士会にとって多様な人材の確保や、国民・納税者の税理士に対する信頼と納税者利便の向上を図っていただけるよう活動して参りました。これからも先生方のご期待に少しでもお応えすることができるよう、全力を尽くして参ります。

また、われわれ政治家もそうですけれども、税理士の先生方も、私たちであれば有権者であり、税理士の先生方の場合にはクライアント、お客さまということだと思いますが、そういう方々のお声に真摯に耳を傾けて、どうすればそういうお声に応えることができるのかと毎日の仕事の中でご対応されておられると思います。そのような気持ちを常に持ち続けて、いつも真摯にお客様であり国民の皆様に対応していくことが大事ではないかと私は考えております。これからも私自身も頑張りますので、那須会長をはじめ多くの税理士の先生方に、引き続きご指導、ご支援賜ればありがたいと考えております。



前列、盛山正仁大臣、後列左から、矢田善久広報委員長、長谷川隆史幹事長、那須弘敬会長

(司会) 盛山先生におかれましては、政務ご多用中にも関わらず、近畿税政連との新春対談にご臨席賜りまして厚く御礼申し上げます。

語りつくせないところもあったかと存じますが、盛山先生の今後のさらなるご活躍を祈念申し上げます。新春対談を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(司会 矢田善久広報委員長)

盛山正仁 文部科学大臣 略歴 (衆議院・兵庫1区・自民党)

○昭和28年12月生まれ

昭和47年3月 私立灘高等学校卒業

昭和52年3月 東京大学法学部卒業

平成25年3月 神戸大学大学院法学研究科修了

平成26年3月 神戸大学大学院経営学研究科修了

昭和52年4月 運輸省入省

平成17年9月 第44回衆議院議員総選挙 初当選

平成24年12月 第46回衆議院議員総選挙 当選

法務大臣政務官

平成26年9月 自民党政務調査会 法務部会長

平成26年12月 第47回衆議院議員総選挙 当選

平成27年10月 法務副大臣兼内閣府副大臣

(第三次安倍改造内閣)

平成27年11月 2級ラジオ体操指導士を取得

平成28年8月 法務副大臣兼内閣府副大臣(重任)

平成29年8月 自民党政務調査会 国土交通部長

長

平成29年10月 第48回衆議院議員総選挙 当選

平成30年10月 自民党国会対策委員会 副委員長

平成30年12月 1級ラジオ体操指導士を取得

令和元年10月 衆議院 厚生労働委員長

令和2年10月 自民党国会対策委員会 副委員長

衆議院議院運営委員会 理事

令和3年10月 第49回衆議院議員総選挙 当選

令和3年11月 自民党国会対策委員会 筆頭副委員長

衆議院議院運営委員会 筆頭理事

令和5年9月 文部科学大臣

(第二次岸田第二次改造内閣)

自民党での主な活動

<副会長> 観光立国調査会、司法制度調査会

<幹事長> 海運・造船対策特別委員会

<事務局長> 航空政策特別委員会、住宅土地・都市政策調査会 他

後援会ニュース

田中ひでゆき後援会

税理士による田中ひでゆき後援会の第2回定期総会が8月26日、ホテルグランヴィア京都において開催された。来賓として、田中ひでゆき衆議院議員、近税政本部より久保直己会長、田達満幹事長、京都府支部連より木村敏之会長、松村一郎幹事長が出席した。



総会は平田利男幹事長の司会により進行し、平野烈会長のあいさつに始まり、全議案、可決承認された。続いて久保会長より「田中議員は国土交通大臣政務官、文部科学副大臣を歴任され着実に実績を積み、今後も益々の活躍をご祈念申し上げたい」とのあいさつがあった。

続いて田中議員より国政報告があった。インボイス制度の開始を目前に控えているが、消費税のみならず税制は納税者にとって簡素でわかりやすいものであるべきである。今後も税制の諸課題に対し、真摯に取り組んでいきたい。次に物価対策が喫緊の課題である。特に燃料費の高騰は原材料価格の上昇につながり、とりわけ農業における肥料代、餌代の高騰に対し、与党は持続可能な営農環境に向けた施策を講じていきたい。その他、コロナ禍明けの観光地におけるオーバーツーリズム緩和に向けた施策が必要である。国内のさまざまな課題に一つ一つ丁寧に対応していくことが示された。

その後、田中議員を囲んで意見交換され、盛会のうちに散会した。(草津支部 吉川孝二)

世耕弘成後援会

開催日 令和5年9月2日
場所 ダイワロイネットホテル和歌山
来賓 世耕 弘成 参議院議員
田 達満 近税政幹事長



税理士による世耕弘成後援会令和4年度定期大会が、堀博充会員の司会により開会し、速水慎一郎会長よりあいさつがあった。

川口昌紀会員が議長になり、全議案が可決承認された。来賓の田近税政幹事長が祝辞を述べ、久保近税政会長のあいさつが代読された。

世耕議員による国政報告では、内閣改造を控え、参議院選出枠の人事調整が一段落したこと、安倍元総理の一周忌を終え、安倍派5人衆の一人として安倍派を支えていく方針について説明があった。政策面では、日本経済は安定した伸びを示し、また、税収においても右肩上がりになっており、しばらくは経済成長が見込めるだろうと述べた。しかし、一方で、中国経済の成長鈍化や人口減少問題、従来型の画一的な教育体制の問題など、さまざまなリスクが潜んでいることを紹介した。また、今後の施策として、低金利の継続が望ましいことや観光産業・食文化の振興、教育制度改革などをあげた。

最後に、内原健副会長が閉会のあいさつをし、定期大会は終了し、引き続き3年ぶりに懇親会が盛大に開催された。

(和歌山支部 堀博充)

石田真敏後援会

開催日 令和5年9月2日

場 所 ホテルいとう

来 賓 石田真敏 衆議院議員

後安宏彦 近税政副会長

小西里枝 近税政和歌山県支部連幹事



税理士による石田真敏後援会定期総会は、司会の奥田崇喜会員による総会成立の報告とともに開会した。引き続き、森村透会長から今日の新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況の変化から4年ぶりの対面での開催となり、日頃の後援会活動への感謝、今後とも石田議員を強力に支援し、国政の場でご活躍いただけるように応援していきたいとあいさつがあった。

議長には、井上雅貴会員が選任され、すべて議案が可決承認された。役員改選では、会長に森村透会員が留任し、幹事長に加藤和也会員が就任した。

来賓の後安近税政副会長、小西近税政和歌山県支部連幹事の二人から総会無事終了の祝辞に続き、今後も石田議員を支援するため、後援会組織の充実にますます努力してほしいとのあいさつがあった。

定期総会後の懇親会において、石田議員の国政報告会がおこなわれ、衆議院議員選挙での区割り変更に伴い和歌山県では3区から2区に定数削減されることなどを含めて有意義な意見交換の場となった。

(後援会寄稿)

山口つよし後援会

開催日 令和5年9月13日

場 所 たつの市福祉会館

来 賓 長谷川隆史 近税政幹事長



武内雅伸会員の司会で開会し、柴原恵一会長から、新型コロナウイルスが5類に移行したことを受け「会員の皆様とまた以前のような活動ができるように期待している」とあいさつがあった。

議長には原満弘会員が選出され、後援会活動の詳細ならびに収支決算について報告があり、全議案が賛成多数で可決承認された。

続いて長谷川近税政幹事長が「令和5年度税制改正に関する建議・要望」を取り上げ、それがどのように作成されているのかを簡単に説明し、ちょうど当日に日経新聞に掲載された消費税のインボイス制度の記事について触れた。

その後、山口つよし事務所の坂口孝志総務部長が、今メディアでは岸田政権の内閣改造が話題ですがと切り出し、山口壯衆議院議員のあいさつを代読した。その中で、コロナ禍や日程の都合もあり、当定期総会へ2年間出席できていないが、次回こそは出席したいと意気込みを述べ、当後援会の日頃の活動に感謝している旨を述べた。

最後に、花房賢司会員が閉会のあいさつをし、定期総会は終了した。

(後援会寄稿)

伊藤孝江後援会

令和5年9月29日、ザ マーカスクエア神戸にて、税理士による伊藤孝江後援会第6回定期総会が開催された。

来賓として、伊藤孝江参議院議員、赤羽一嘉衆議院議員、中野洋昌衆議院議員、長谷川隆史近税政幹事長、蟬川寛嗣兵庫県第一支部連会長、藤本晃兵庫県第二支部連会長、小塩明兵庫県第三支部連会長の出席があった。



越智信介副会長のあいさつにより定期総会が開会され、上程された議案は全て原案どおり可決承認された。垣見芳正会長からは、戦う後援会として、衆議院選挙がおこなわれた場合も、支援する議員を国会に送り出し、われわれの税制改正要望の実現につなげたいとのあいさつがあった。

続いて赤羽議員より、少子高齢化、原料価格の上昇、景気の不安、インボイス制度の議論など、さまざまな課題解決に向けて取り組んでいく旨、中野議員より、現場の声をよく聞いて、中小企業対策、経済対策をおこなっていく旨のあいさつがあった。最後に日原勉副会長による閉会のあいさつにより定期大会は終了した。

引き続き、藤本兵庫県第二支部連会長の乾杯により懇親会が開会された。公務のため、懇親会からの参加となった伊藤議員からは、文部科学政務官としての任務、租税教育の重要性、インボイス制度への対応などの報告がなされ、懇親会は終了した。

(芦屋支部 吉田智代)

中山泰秀後援会

税理士とその関与先による中山泰秀後援会の第19回定期大会が、令和5年10月6日にホテルモントレラ・スール大阪において開催された。



来賓として、中山泰秀前衆議院議員、田達満近税政副会長が出席した。

石田和久会員の司会で開会し、新田博之会長から「今後予想される総選挙に向けて、我々の意見を代表していただける中山前議員に絶大な支援をお願いする」とあいさつがあった。

次いで見浪一敏会員が議長に選出され議事に入った。第1号議案の令和4年度事業報告および収支報告、第2号議案の令和5年度事業計画案および収支予算案が上程され、原案通り可決承認された。

来賓の田近税政副会長があいさつに立ち、定期大会無事終了の祝辞を述べた。

引き続き、川崎啓之会員が司会となり、中山前議員の時局講演会が始まった。中山前議員が政局の近況について外務副大臣時代の経験をもとに講演した。

その後、今中徳治幹事長より、令和6年度税制改正に関する建議書の概要が説明され、中山前議員に陳情をおこなった。

定期大会終了後、懇親会となり、中山前議員が各テーブルを回り、意見交換をおこない、和やかな雰囲気の中に終了した。

(後援会寄稿)

西田昌司後援会

税理士による西田昌司後援会定期総会が10月6日、からすま京都ホテルにおいて開催された。

来賓には、西田昌司参議院議員、近税政から長谷川隆史幹事長、近税政京都府支部連より中谷隆夫会長、高橋宏至幹事長、近税会京都府支部連より米田茂会長の出席があった。

富村将之会長より「西田議員は党の税制調査会などさまざまな役職に就かれている。若い会



員をさらに集めて後援会活動を盛り上げていく」とあいさつがあった。

定期総会はすべての議案が可決承認され、長谷川近税政幹事長より「西田議員は、税政連の中でも特にご協力をいただいている。さらなる成果を期待して支えていく」とあいさつがあった。

続いて西田議員から「消費税増税後、個人の消費が抑えこまれ、一方法人税減税により企業の内部留保が増えることとなった。法人税や所得税を減税しても消費に回らず経済には効果はない。中間層の手取りを増やすために、社会保険料、消費税を下げる必要がある。税は財源ではなく社会を動かす装置であるということを国民に理解してもらいたい。税理士のみなさまにも協力していただきたい」と話があった。

その後、富村会長より要望書を西田議員に手渡し、中谷支部連会長の祝辞の後、米田近税会支部連会長の乾杯で和やかに懇親会がおこなわれた。
(下京支部 吉田和之)

第1回写真コンテスト表彰式・懇親会開催

令和5年9月15日、大阪キャッスルホテルにて「第1回写真コンテスト」の表彰式および懇親会が開催された。当日は、6人の受賞者と外部審査員である写真家の宮崎壽一郎先生が出席した。

コンテストにおける応募点数は総数22点であった。そこから厳選なる審査を経て、最優秀会長賞・優秀賞などが選ばれた。会場内では第57回定期大会時と同様に、額装された写真の受賞作品が飾られた。

はじめに那須弘敬会長が主催者を代表してあいさつした後、宮崎先生が紹介された。引き続いて、那須会長から受賞者に対して賞状と記念品が授与された。表彰式の後、宮崎先生から作品に対する講評が一点ずつおこなわれた。

昼食を囲んだ懇親会では、受賞者が一人ずつ登壇し、応募動機や経緯そして応募作品への想いを述べた。受賞者のエピソードを聞いて出席



者は和やかな雰囲気にも包まれた。

今回、昨年度までおこなっていた川柳・書道コンテストに替わって、初めて写真コンテストを開催したが、応募サイズなど応募要領に難しい面があったが、近畿税理士政治連盟の存在感を改めて外部に周知する良い機会となった。

最後に、後安副会長のお礼のあいさつにより閉会となった。

第1回写真コンテスト

受賞者

新年を祝う初日の出

最優秀
会長賞

新田 裕夫 (北支部)



2023年1月1日コロナ禍の中、新しき年が平穏な年であることを願うが如く、黄金色に輝いた太陽が朱雀門越しに昇り始めた。

みなとみらい大観覧車

優秀賞

西口 まゆり (奈良支部)



ホテルの客室から絶景の夜景が広がっていました。

入選

板倉 宏行 (姫路支部)

姫路城と満月



ライトアップされ白と黒のコントラストが美しい姫路城と雲の海に浮かんでいるようにも見える白い満月を狙ってみました。

入選

小川 宗彦 (大津支部)

天空のオアシス



比良山系にあるびわ湖パレイから眼下に広がるびわ湖を映し出し、非日常を表現しました。また、撮影に当たってはテラスの「波紋」を強調しました。

幹事長特別賞

山下 肇 (豊能支部)

名もなき池

通称「モネの池」で撮影しました。睡蓮とコイを撮影したくて、訪問しましたが、あいにく睡蓮があまりありませんでした。そこで木の橋とコイが画面に入るように、人が橋を渡っていない瞬間を狙い撮影しました。



広報委員長特別賞

後藤 淑子 (富田林支部)

夜明け前



富士のご来光を撮りに毎年年末から本栖に行っております。元日の未明から登るのは竜ヶ岳の1200m位のポイントです。未だ7回ですが、真っ暗な山道を急ぎながら楽しみなのは夜明け前の空の色の変化です。

本部6委員会の紹介

政策委員会

当委員会は近税政の活動への理解と協力をいっそう深めていただけるよう、近畿税理士会および日本税理士会連合会ならびに日本税理士政治連盟と連携して活動していく予定です。

政策委員会内の活性化に取り組むとともに、活動内容をわかりやすく皆様にお届けすることにより、当連盟の目的と必要性を認知いただけるよう、他の委員会と連携して活動してまいりますので、ご協力いただけますようお願いいたします。

(政策委員長 池田直樹)



財務委員会

当委員会は、近税政の財政の確立強化と健全な運営を図ることを目的としています。

そのために、会費収納率向上のための諸施策を検討・実施していますが、会費収納率が年々低下しているのが現状です。会費収納率の向上は、各単位税政連とも苦心しているところで、財政基盤が脆弱であれば思うような成果を得る活動をすることができません。

これからの2年間、委員の皆様と一緒に、他の委員会と連携しながら活動していく所存です。

税政連運営に必要な財政基盤の強化を図るた



め、会費収納および、税理士制度発展募金へのご協力をよろしくお願いいたします。

(財務委員長 額田朋子)

組織委員会

当委員会は、組織の充実を図り、諸規程の整備を通じて内部規律を高め、より強固な組織を確立してまいります。

特に、会員の資格などに関して規約改正などを踏まえ、過去の係争事案等を研究しさらに検討を続けてまいりたいと考えています。

また、組織の活性化を図るために、会員研修会などを企画してまいります。同時に、一人ひとりの会員に税政連会員であることを認識していただけるような施策を検討し、実施してまい



りますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(組織委員長 小寺隆弘)

※撮影時、ご欠席の方もございます。ご了承ください。

国対委員会

当委員会は、国会活動を通じて陳情・懇談などの運動を実施し、税理士会による税制改正建議・要望の実現に向けた活動をおこないます。また国政選挙を中心として推薦候補者に対する選挙対策を企画立案し、支援運動を展開してまいります。特に選挙対策においては公職選挙法および政治資金規正法を理解するための研修会を随時開催し、選挙に対する正しい知識を持っていただけるように努めます。このような当委員会の活動を通じて、税政連活動が会員にとって必要不可欠な活動であり、より身近に感じて



いただけるような施策を展開していきたいと考えております。

(国対委員長 和田浩孝)

後援会对策委員会

当委員会は、国会議員等との密接な関係を構築し、税制改正要望等の陳情に対し理解と協力を得るために設立された『税理士による国会議員等後援会』の組織強化、活性化を支援する委員会です。

後援会活動は、税理士会の建議・要望を実現させるために非常に重要であり、すべての後援会が活発に活動し、支援要件を満たす後援会(支援後援会)となるためにどうすればいいかを共に考えてまいります。

今後も、より活発な後援会が増えるよう努力



していきたいと思っております。

(後援会对策委員長 山本敬三)

広報委員会

当委員会は、近税政の活動状況を内外に広報する(税政連活動に対する理解を得る)という重責を担っている。その目的達成のために、委員会のメンバーが各後援会や支部連の大会などを取材させていただき、記事に関しては委員会で議論を重ねて、この機関紙「近畿税政連」にその活動の様子を掲載している。会員の先生方には、近税会の会報に同封されてくる「近畿税政連」をすぐに捨てることなく是非ご一読することをお願いしたい。読んでいただける機関紙を目指して精一杯努力いたしております。何か



ご意見ご要望などがあれば広報委員、または近税政事務局までお寄せください。

(広報委員長 矢田善久)

広報委員会からのお知らせ

第2回 写真コンテスト

のご案内

近畿税政連の広報活動の一環として『第2回写真コンテスト』を開催させて頂くことになりました。下記の要領で募集いたしますので、どうぞお気軽にご応募ください。

応募作品 テーマは自由です。 **応募点数** ひとり2点まで (※入賞はひとり1点)

応募規定 ■作品サイズ：六切 (ワイド可)、A4、四切 (ワイド可)、A3

■合成写真は不可とします。(比較明合成、比較暗合成、多重撮影、深度合成は問題ありません)。

■インクジェットプリントも可

応募期間 令和6年1月9日 (火) ~ 令和6年7月26日 (金) 消印有効

応募票は、近畿税政連ホームページ (<https://www.kinzeisei.jp>) からダウンロード・印刷のうえご利用ください。

→ 近 税 政 連 H P



令和5年度税理士制度発展募金

ご協力に感謝いたします

令和5年11月30日までに、以下の225人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

【東支部】 井上 映夫 榎崎 洋 尾形 俊一 鎌塚 崇文 熊木 耕平 島井 章吉 瀨川 昇 高橋 秀樹 田口 弘 堤 昌彦 藤田 義則 松原 博吉 森下巳代治	【西支部】 明石 智次 柏木 英樹 龜山 勝幸 齊藤 隆示 佐々木順子 吉栖 照美	【港支部】 岡 訓範 新名 徹 辻子 隆裕	【南支部】 大澤 正治 笹田 淳	【北支部】 木村 将明 黒石 健弘 坂井 誠司 柴崎 光徳 下山隆一郎 高木 亮 富岡多恵子 那須 弘敬 平井 信行 眞砂 剛志	【福島支部】 小野郁三朗 小泉 丹二	【大淀支部】 木下 尚一 木下 泰三	【旭支部】 旭 輝明 今村 亮彦 上田 初幸 上村 京勲 大久保一成 栗栖 純一 白木 雅夫 世古 建一 中島 正悟 見浪 一敏 宮下 公司	【城東支部】 河田 秀雄 宮本 俊弘	【枚方支部】 佐藤 裕之 佐藤 正尚 西田 隆郎 福田 邦子 福田 平司 大崎 正博 中野 敦司 西野 信宏 大和 司 村上 健司 山内 幹雄 吉永 直也 久保 勇二 上野 弘之 沖名子祐光 白樺 佑也 土橋 哲夫 平山 高明 畠山 義輝	【東大阪支部】 上田 吉昭 米満 信昌 南 宏一	【堺支部】 大谷富太郎 菊之井秀年 高澤富士子 山口 茂	【岸和田支部】 網代 雅典 清原 正治 坂原 和代 山田 晴彦	【泉佐野支部】 坂本 博文 田中 洋 【淡木支部】 榎本 潔 榎本 芳美 田中 圭子 田 達満 西野 信宏 大和 司 【富田支部】 稻次 啓介 瀧藤 憲彦 段野 隆弘 上田 吉昭 米満 信昌 南 宏一	【東山支部】 倉重 由幸 作見 藏市	【宇治支部】 大高 友紀 堤 征一郎 平松 正孝 湯浦 正信	【福知山支部】 中井 正紀	【上京支部】 室谷 澄男 矢田 善久	【中京支部】 斎藤 満 高橋 宏至 林 倫敦	【下京支部】 岡本 正 北村 善和 【右京支部】 東 晃平 太田 聡一 岸本 郁男 下林 忠夫	【左京支部】 井戸 忠夫 大津 昭博 山田 正克	【東山支部】 南 利博 森本 康正	【加古川支部】 長岡 耕司	【西宮支部】 秋本 靖 浦濱 勇 上月 宏之 東耕 功 永田 清行 原田 誠 峯田 歩 森下由雅里	【尼崎支部】 佐藤 寛	相内 隆作 壽 信明 瀬 茂洋 樽井 博 永野 卓美 藤田 隆大 高見 悟 長谷川隆史 井戸 忠夫 大津 昭博 山田 正克 蝉川 寛嗣 南 利博 森本 康正 加古川支部 長岡 耕司 秋本 靖 浦濱 勇 上月 宏之 東耕 功 永田 清行 原田 誠 峯田 歩 森下由雅里	佐茂 省治 松川 弘巳 若原 昭 【伊丹支部】 荒木 栄邦 泉 和子 棚澤 敦 林 文彦 【柏原支部】 田原 義朗 【姫路支部】 金川 弘 後藤加代子 【須磨支部】 稲田 実 【豊岡支部】 小倉 英明 【奈良支部】 東 真由美 柴田 順子 島田 明 関 節生 武野 勝文 仲村 忠雄 西口まゆり 横山 千夏 【葛城支部】 郡 和世	田中 俊男 西田 知生 三谷 清重 【桜井支部】 高田 雅信 森 修二 【和歌山支部】 岡本 功 川口 昌紀 後安 宏彦 小西 里枝 額田 朋子 山本 大輔 中西 正樹 【大津支部】 織戸 英信 久保 直己 中西 知行 【今津支部】 河原田新市 戸次威左武 【草津支部】 飯田 哲雄 中丸 玲子 西村 宏 増井 常夫 山田 正人 【彦根支部】 三輪 和宏
--	---	--------------------------------	------------------------	--	--------------------------	--------------------------	---	--------------------------	--	-----------------------------------	--	---	--	--------------------------	--	------------------	--------------------------	---------------------------------	--	-----------------------------------	-------------------------	------------------	---	----------------	--	--	---

※随時募金を受付しております。振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「税理士制度発展募金へのご協力をお願い」をご覧ください。

税理士登録をした当初は、ギリギリ20歳代という若さでしたが、早いものでもう50歳を過ぎてしまいました。私自身はまだ若い気持ちでいますが、体力の衰え、目の衰え、家族との絆の衰えとこの年になって気づかされるが多々あります。最近までの趣味は暴飲暴食でしたが、健康にも気を遣うべき年になり、他の趣味を見つけなければと思う今日この頃です。税政連広報委員をはじめ様々な活動をするため、顧問先のため、また自分自身のためにこれからは健康を第一に考えて頑張っていきたいと思います。



(東大阪支部 首藤直樹)

「和顔愛語先意承問(わげんあいごせんいじょうもん)」和やかな顔と思いやりの言葉で人に接して、相手の気持ちをいたわり、先に相手の気持ちを察して、相手のために何が出来るか自分自身に問いただすという意味です。この言葉は親鸞聖人が真実の経典として最も大切にされた浄土三部経のひとつ無量寿経のなかにある言葉で、西本願寺正門脇に掲示されております。

自分自身に言い聞かせているツモリなのですが、時に言葉が刺々しくなったり、非難調になったり、感情の抑制が効かなくなることもあって反省することしきりです。

(上京支部 東智之)

新年のあいさつとして、日本独自の習慣である年賀状。本来は年始のあいさつに行けない相手にお祝いや日頃の感謝を伝える趣旨なのだが、近年はSNSの普及や環境への配慮などで賀状を出さない方もおられるかと思う。私は手書きの文章や自身で撮った写真など、気持ちを込めたオリジナルの賀状を作成しようと思いつつも、実際のところ年末の繁忙でなかなか実現は難しい。また新年を迎えてから心を落ち着かせて賀状を書きたいと思っても、相手方に届くのが遅くなり失礼にあたらぬかと心配もあって、毎年いろいろと悩んでいる。

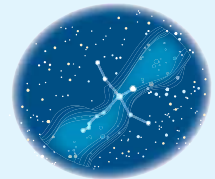
(伊丹支部 今田幸史)

近税政本部のうごき

- 国対・後援会対策合同委員会(11月14日)
 - 令和5年度運動方針及び委員会活動方針について
 - 確定申告期における税務支援業務の視察について
 - 後援会の状況について 他
- 政策・財務・組織合同委員会(11月16日)
 - 令和5年度運動方針及び委員会活動方針について
 - 税制改正要望について
 - 会費収納率の向上策について
 - 会員研修会の開催について 他
- 第4回広報委員会(12月1日)
 - 機関紙第267号(新年号)の編集について
 - 機関紙第268号の編集企画に関する件 他

「表紙」題字：第8回川柳・書道コンテスト
書道テーマ部門 最優秀会長賞
(作=小倉さやか 上京支部)
「焦点」題字：第8回川柳・書道コンテスト
書道テーマ部門 優秀賞
(作=東智之 上京支部)

銀河系



温故知新

コロナ禍以降、本を読む時間が以前よりも増えた。若いころに読んだケインズの「一般理論」などをはじめとする「古典」といわれるものを、洋の東西を問わずさまざまなジャンルのものを読み返してみた。当時の自分の稚拙さを思い知らされるとともに、この年齢だから気づくたくさんの新しい発見があった。その本が書かれた時代にも、今と同じような状況があり、人々がその解決のためにいろいろな努力がなされていたことがよく分かる。そこには今の時代に向き合うためのいろいろなヒントが隠されている。また、内容もさることながら、言葉の使い方が洗練されていることを痛感させられる。かっこいいのである。新しく刊行されるものを読んで自分の知識をアップデートしつつ、先人の英知に触れて自省することで、知識の幅と深みを拓いていきたい。読書の快楽に耽りたい。

(堺支部 大谷富太郎)



大阪・奈良税理士協同組合

理事 長 永橋 利志
副理事 長 山村 典之 吉村 正浩 森田 務 相間 宏章 長谷川 孝夫
専務理事 伏木 誠 根來 直代
常務理事 石谷 秀志 北川 貴敏 中井 利幸 林 武 本田 浩基 尾崎 浩文 神田 有啓

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 (近畿税理士会館11F) TEL (06) 6941-6888 / FAX (06) 6947-2800

<https://www.hanna-zeikyo.jp>